

HICスリー移替え作業の進捗状況について

2024年4月26日



東京電力ホールディングス株式会社

➤ HICスラリー移替えの背景

多核種除去設備及び増設多核種除去設備での処理に伴い発生したスラリーは、高性能容器（HIC）に収容し保管しているが、スラリーによるβ線照射影響を受けたHICのうち、積算吸収線量5,000kGyを超えると評価されたHICについては、万一落下した場合において構造健全性が確認されていないことから、漏えいリスク低減のため、スラリーの移替えを計画。

➤ 2023年度 移替え計画

- ✓ 2023年度内に102基（2022年度実施の45基含む）。

➤ 2023年度 移替え作業進捗状況

- ✓ 2024年4月18日に102基の移替えを完了。
 - 2023年度内に102基の移替えを完了する計画で進めていたが、2024年2月発生の高温焼却炉建屋からの漏えい事象を受け、安全に万全を期するため、作業手順書等の再確認を実施したことから、完了が4月18日となった。

➤ 2024年度以降の移替え計画

- ✓ 2024年度以降は、ALPSスラリー安定化処理設備の運用開始までに積算吸収線量が5000kGyを超えると評価されるHICについて、順次、移替えを計画。
- ✓ 2024年度の対象基数は23基であり、5000kGyを超える前に移替えを実施予定。

各年度末までに新たに積算吸収線量が5000kGyを超えるHIC基数

2024年度	2025年度	2026年度
23基	26基	48基